

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 日本車輛製造株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7102 URL http://www.n-sharyo.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 生島 勝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 新美 憲一

TEL 052-882-3316

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

配当支払開始予定日

平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	38,427	—	364	—	229	—	△33	—
20年3月期第2四半期	40,642	10.6	△2,558	—	△2,697	—	△6,253	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△0.23	—
20年3月期第2四半期	△43.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	127,918	—	45,313	—	35.4	—	313.00	
20年3月期	130,537	—	46,278	—	35.3	—	319.21	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 45,238百万円 20年3月期 46,151百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	3.00	3.00
21年3月期	—	2.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,700	1.9	2,700	—	2,400	—	1,500	—	10.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)

除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 146,750,129株 20年3月期 146,750,129株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 2,219,435株 20年3月期 2,169,942株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 144,568,590株 20年3月期第2四半期 144,597,581株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(その他特記事項)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間においてわが国経済は、数年来続くエネルギーおよび原材料価格の高騰などに加え、米国のサブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱や株価の歴史的な下落による激震に見舞われ、実体経済の減速感と先行きの不透明感が一段と強まりました。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上は、N700系新幹線電車を中心とした鉄道車両をはじめ、建設機械などの更新需要がありましたが、一部製品の納入時期の繰り下げなどにより、全体の売上高は384億27百万円となり、前年同期に比べ5.4%の減少となりました。利益面につきましては、生産性の向上に努めた結果、営業利益は3億64百万円、経常利益は2億29百万円となりましたが、特別損失を計上した結果、33百万円の四半期純損失となりました。

なお、当社は、本年8月15日、東海旅客鉄道株式会社（以下「JR東海」という。）との間において、相互補完の関係を構築し、両社の総合的な技術力を向上させ、企業価値の持続的拡大を図るため、資本業務提携契約を締結するとともに、JR東海による当社普通株式に対する公開買付け（公開買付け期間終了：本年10月7日、決済開始：同10月15日）が実施され、JR東海は当社の発行済株式総数の過半を保有しております。

公開買付けの概要等については、「4. その他（4）重要な後発事象」に記載しています。

事業のセグメント別状況は以下のとおりであります。

① 鉄道車両・輸送用機器事業

鉄道車両におきましては、JR東海向けN700系新幹線電車のほか、京王電鉄、名古屋鉄道、遠州鉄道向け電車などを納入しました。輸出では米国向け客車や台湾向け通勤電車部材などがありました。また、輸送用機器におきましては、主力のLPG民生用バルクローリなどLPG関連製品のほか、大型陸上車両、コンテナの売上がありました。

以上の結果、鉄道車両・輸送用機器事業の売上高は215億円となり、前年同期に比べ9.0%減少しました。

② 建設機械事業

建設機械におきましては、公共工事の減少基調は依然として続いているものの、大手土木施工業者を中心に更新需要が増加し、大型杭打機やアースドリルなどの基礎工事関連製品や海外販路拡大が好調に推移しました。

以上の結果、建設機械事業の売上高は100億96百万円となり、前年同期に比べ2.0%増加しました。

③ 鉄構事業

主力の官公庁向け道路橋製作架設工事に加え、鉄道軌道上の橋梁架設があり、鉄構事業の売上高は24億29百万円となり、前年同期は完工案件が少なかったため、前年同期に比べ116.4%の増加となりました。

④ その他事業

営農施設ではJA向け種子乾燥装置やカントリーエレベータの改修工事、車両検修設備ではJR向け設備、搬送システムでは製鉄所向け軌道台車などがあり、また、製紙関連機器では家庭紙メーカーへの加工設備などの売上がありました。そのほかゴルフ場収入、鉄道グッズ販売などがありました。

以上の結果、その他事業の売上高は44億2百万円となり、前年同期に比べ26.7%減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は前連結会計年度末比1.6%減少し765億70百万円となりました。これは、たな卸資産などの増加額に比べて売掛債権などの減少額が上回ったことによるものです。固定資産は前連結会計年度末比2.6%減少し513億48百万円となりました。これは主として、投資有価証券の評価額が低下したことによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末比2.0%減少し1,279億18百万円となりました。

② 負債

流動負債は前連結会計年度末比1.0%増加し505億53百万円となりました。これは主として、短期借入金の減少額を鉄道車両や橋梁工事に係る前受金の増加による増加額が上回ったことによるものです。固定負債は前連結会計年度末比6.2%減少し320億51百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比2.0%減少し826億5百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計額は前連結会計年度末比2.1%減少し453億13百万円となりました。これは主として、配当金の支払いによる利益剰余金の減少やその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、前回（平成20年10月28日付け）公表いたしました予想値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見取り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、原則的な方法によっておりますが、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測を利用しております。

ただし、連結子会社においては、前連結会計年度における実効税率を用いた簡便な方法により算定しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 会計処理基準に関する事項の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、原価法から原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益および経常利益は7億88百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は同額増加しております。

2. 追加情報

①有形固定資産の耐用年数の変更

機械装置の耐用年数については、第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産については、改正後の法人税法に基づく耐用年数に変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は37百万円、経常利益は37百万円それぞれ減少し、税金等調整前四半期純損失は37百万円増加しております。

②損害賠償の請求について

当社は、平成20年6月12日から13日にかけて国土交通省東北・関東および北陸の各地方整備局から、また、平成20年6月26日から27日にかけて東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社および独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構から、それぞれ鋼橋上部工事の入札談合に係る損害賠償の請求を受けました。

当該請求は入札関係全社等の連帯債務としての損害賠償請求を受けているものであります。請求内容を精査した結果、当社としては、当該請求への対応に関しては引き続き慎重に検討中ではありますが、当社受注案件に係る損害賠償金および遅延損害金2億円につき、損害賠償損失引当金に計上することと致しました。

(4) 重要な後発事象

1. 親会社の異動

J R東海は、平成20年8月18日から平成20年10月7日までに実施された当社株式に対する公開買付けの結果、当社普通株式70,879,592株を取得し、これにより平成20年10月15日（決済開始日）付でJ R東海の所有する当社の議決権数の総株主等の議決権に対する割合が50.86%となったことから、J R東海は当社の親会社に該当することとなりました。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,945	11,767
受取手形及び売掛金	19,577	31,421
有価証券	9	—
商品	472	428
製品	1,166	1,402
半製品	1,132	1,154
原材料及び貯蔵品	1,684	1,665
仕掛品	38,195	27,822
その他	3,487	2,222
貸倒引当金	△101	△85
流動資産合計	76,570	77,799
固定資産		
有形固定資産		
土地	16,739	16,742
その他(純額)	12,201	12,847
有形固定資産合計	28,941	29,590
無形固定資産		
投資その他の資産	181	200
投資有価証券	21,471	22,204
その他	1,021	1,014
貸倒引当金	△267	△270
投資その他の資産合計	22,225	22,948
固定資産合計	51,348	52,738
資産合計	127,918	130,537
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,836	24,158
短期借入金	9,899	11,699
未払法人税等	89	96
工事損失引当金	1,306	1,110
損害賠償損失引当金	200	—
その他	15,221	13,011
流動負債合計	50,553	50,075
固定負債		
社債	19,000	19,000
長期借入金	1,905	4,337
引当金	653	641
その他	10,493	10,205

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債合計	32,051	34,183
負債合計	82,605	84,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,810	11,810
資本剰余金	12,043	12,041
利益剰余金	16,589	17,056
自己株式	△443	△427
株主資本合計	40,000	40,481
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,238	5,669
繰延ヘッジ損益	△0	—
評価・換算差額等合計	5,238	5,669
少数株主持分	75	126
純資産合計	45,313	46,278
負債純資産合計	127,918	130,537

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	38,427
売上原価	35,142
売上総利益	3,284
販売費及び一般管理費	2,920
営業利益	364
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	184
持分法による投資利益	5
為替差益	60
その他	155
営業外収益合計	415
営業外費用	
支払利息	234
その他	315
営業外費用合計	550
経常利益	229
特別利益	
固定資産売却益	53
投資有価証券売却益	46
関係会社清算益	4
特別利益合計	104
特別損失	
固定資産除売却損	35
減損損失	2
投資有価証券評価損	101
損害賠償損失引当金繰入額	200
特別損失合計	340
税金等調整前四半期純損失(△)	△6
法人税等	26
少数株主利益	0
四半期純損失(△)	△33

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 中間連結損益計算書

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

科目	前中間連結会計期間 (平成20年3月期 第2四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	40,642
II 売上原価	40,170
売上総利益	471
III 販売費及び一般管理費	3,030
営業損失 (△)	△2,558
IV 営業外収益	333
V 営業外費用	472
経常損失 (△)	△2,697
VI 特別利益	25
VII 特別損失	4,289
税金等調整前四半期純損失 (△)	△6,961
税金費用	△715
少数株主利益	7
四半期純損失 (△)	△6,253

「参考資料」

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

事業区分		当第2四半期連結累計期間 (平成20.4.1~平成20.9.30)		前中間連結会計期間 (平成19.4.1~平成19.9.30)	
		金額	構成比	金額	構成比
受 注 高	鉄道車両・輸送用機器	百万円 18,097	% 51.2	百万円 11,829	% 40.7
	建設機械	10,021	28.3	10,063	34.7
	鉄構	2,076	5.9	871	3.0
	その他	5,166	14.6	6,258	21.6
	合計	35,361	100.0	29,022	100.0
受 注 残 高	鉄道車両・輸送用機器	139,057	81.2	89,772	76.3
	建設機械	12,856	7.5	9,222	7.8
	鉄構	15,506	9.0	14,981	12.7
	その他	3,939	2.3	3,761	3.2
	合計	171,360	100.0	117,737	100.0

(2) 販売実績

事業区分		当第2四半期連結累計期間 (平成20.4.1~平成20.9.30)		前中間連結会計期間 (平成19.4.1~平成19.9.30)	
		売上高	構成比	売上高	構成比
鉄道車両・輸送用機器		百万円 21,500 (979)	% 55.9	百万円 23,614 (4,945)	% 58.1
建設機械		10,096 (1,393)	26.3	9,897 (1,163)	24.3
鉄構		2,429 (—)	6.3	1,122 (—)	2.8
その他		4,402 (—)	11.5	6,007 (—)	14.8
合計 (うち輸出分)		38,427 (2,372)	100.0 (6.2)	40,642 (6,108)	100.0 (15.0)